



卒業生の熱意と同窓会の支援が大きな力に

このほど中村信一学長は、医事雑誌の新年号に石碑「金沢大学誕生の地」の設置経緯に触れた随筆を寄稿しました。中村学長と雑誌の編集局から転載の了解が得られましたので、紹介します。

石碑「金沢大学誕生の地」

金沢大学は金沢市郊外の角間地区に位置するが、かつてドイツのハイデルベルク大学とともに、世界に二つしかない「お城の大学」として全国に知られていた。その歴史を後世に伝えたいとする卒業生の熱意が実を結び、金沢城公園の中に「金沢大学誕生の地」の石碑が建立された。

「金沢大学があったという説明書きがどこにもないのは、どうしてだ？」

金沢大学の第3回ホームカミングデイ準備のために2009年8月、金沢城公園を下見に訪れた際に、思わず声を発した。この思いは城の中で学生時代を過ごした卒業生に共通するものだったのだろう。「卒業生アンケート」でも「金沢大学が金沢城跡にあった証がないのはさみしい、何とかすべきだ」という声が多く寄せられ、これが私の背中を押して、「金沢大学誕生の地」石碑建立を決意させた。

調べを進めていくと、「金沢大学があった証」が残せなかった理由の一つに、金沢城跡が「金沢城址公園」とならず「金沢城公園」となった経緯が関係していることが分かった。つまり、観光資源として金沢城を復元するため城址の歴史は城内に残さない、というコンセプトがあったのである。

そこで、2012年に創基150年を迎える金沢大学の記念事業の中で、1949年の新制金沢大学誕生の地を証する記念碑を金沢城公園石川門附近に設置する、と位置づけ、石川県との折衝に臨むことにした。

国立大学の法人化と創基150年を機に活動が盛んになってきた同窓会からの支援と「卒業生の声」が大きな力になり、最終的には「金沢城跡に一定の期間存在した唯一の現存する組織であることを考慮した上で」石碑の設置は許可された。

2010年11月6日に披露した白御影石の碑文は、1949年から1995年までの46年間、「幾多の有名な人材を輩出した。この地に金沢大学が誕生し、我が国有数の国立総合大学として発展したことを記し、碑を建立する」と結んでいる。 (日本医事新報No.4523 (2011年1月1日付け) 76ページから転載)



短信

北の都会月例会・賀詞交歓会 開く

1月7日、銀座ライオンで開かれた今年最初の月例会には50名の四高生及び金沢大学卒業生が出席。今年は特に、昨年1年間皆勤の11名に記念品が授与され、大いに盛り上がりました。



昨年1年間の北の都会月例会皆勤賞の面々

2011(平成23)年 月例会の予定日

2/4(金), 3/4(金),
4/6(水), 5/9(月),
6/2(木), 7/4(月)大
会, 8/4(木), 9/5
(月), 10/4(火),
11/10(木), 12/5(月)



1月下旬以降の行事等予定

- 医学部十全同窓会会報No.147 発行(1/下旬)
- 法経文学部同窓会役員会(1/27)
- 長野県庁同窓会「加賀の会」総会(1/28 ホテル信濃路)
- 金沢工業会支部長・代表理事合同会議(1/29)
- 関西四高会新春総会(1/30 新阪急ホテル)
- つま同窓会会報発行(3/未定)
- 医学部十全同窓会近畿地区合同総会(6/26)

◆大学や同窓会が業者に名簿作成を依頼することはありません。電話勧誘には十分ご注意ください！
◆地域・職域・サークル・寮等の同窓会活動の近況についての情報や開催日程をお知らせ願います。